

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム丸の内はとぼっぼ

(ユニット名)

白鳩

記入者(管理者)

氏名

片山 綾子

評価完了日

平成 19 年 5 月 26 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月9日

【評価実施概要】

事業所番号	3870300690		
法人名	医療法人 三善会		
事業所名	グループホーム丸の内はとぼぼ		
所在地	宇和島市丸ノ内1丁目4番7号 (電話) 0895-24-1002		
管理者	清水 素美子 片山 綾子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	平成19年7月9日

【情報提供票より】 (平成19年5月31日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	9人, 非常勤 8人, 常勤換算 13.4人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,160 円		
(3)利用者の概要 (平成19年5月31日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	9 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.1 歳	最低 75 歳	最高 104 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・(なし)	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

調査訪問時、ご家族が持って来てくれた大輪のあじさいの花が花瓶に生けてあった。外部研修受講時、「利用者のできることまで、職員が手を出してはいないか」との講師の言葉を職員で話し合い、事業所でも日々のケアについて振り返られた。「利用者のできることはできるだけ行ってもらおう」ということを職員で共有し取り組まれている。職員同士の関係性が良好で、ケアの疑問点等、何でも話し合える関係が作られている。利用者の方が調査訪問時に、事業所のことについての川柳を詠んでくださった。又、通うことを中断していた「川柳の会」を職員の支援で再開された方もおられた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	・居室を間違えるような利用者もおられたため、居室前にのれんをかけたたり、写真を貼る等工夫された。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	・職員個々で自己評価を行ない、ホーム長、管理者がまとめられた。職員は、自己評価作成後、さらに自立支援に向けて取り組みたいと考えておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	・日頃のホームの様子をお伝えしたり、外部研修受講後の取り組み等をお話されている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	・事業所の前の道を掃除されたり、地域の回覧板で事業所の便りを回覧していただけるよう働きかけをされている。ホームで行う芋炊き会等、行事の案内をされている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	・ご家族に対して月1回、ご本人の様子を伝えるお手紙を出されている。ともにホームでの行事報告等を載せた「はとぼぼ便り」も送付されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 自由で楽しい生活という理念があり、地域の人たちが遊びに来たり、立ち寄ってくれたりするように取り組んでいる。また、入居者の希望があれば、自由に外出や買い物等できるようにしている。		
			(外部評価) 事業所の基本理念をユニットごとに分かりやすく「ユニットの理念」として、揚げておられる。利用者が、地域の方と関わりながら生活できるようにと考えられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ユニットの入り口に掲げ、共有しながら取り組めるようにしている。定期的にミーティングが行なわれ現状の確認や、変更されたことを確認している。共同生活、安全という面で職員が管理、手助けはしているが、実践されている。		
			(外部評価) ユニットごとに、職員で意見を出し合ってユニットの理念を作っておられる。		さらに、今後、事業所全体で目指していくこと等について、管理者が日常的に話すような機会作りが期待される。管理者は、ミーティング時に職員で理念について確認することを、さらにすすめていかれようとしていた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入所の契約時に説明している。毎日の生活の様子を来所時に口頭で伝えている。写真を撮ったりして情報交換をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 自治会への加入、散歩時の挨拶、公道の清掃。利用者の知人や友人がよく訪問されている。幼稚園・教会・ボランティア・地域の子供達と行事、季節ごとに交流はある。はとぼっぼ便りを作成し、ご近所に配ったり、行きかう際に挨拶等声かけをしている。		もっと、日常的なお付き合いをしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 行ける人は参加して頂いている。高校生のボランティア・地域のお祭り等には参加している。また、近所の幼稚園児をホームに招いたりしている。		地域の行事などでホームを休憩場所等に利用してもらいたい。
			(外部評価) 事業所の前の道を掃除されたり、地域の回覧板で事業所の便りを回覧していただけるよう働きかけをされている。ホームで行う芋炊き会等、行事の案内をされている。		さらに、地域の行事等、地域の方と関わるような機会を活かして、その後も関係を深めていけるような取り組みが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 退所された方とのお付き合いがあるが、ホーム内の仕事に追われ地域まで及ばない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価での指摘を受け、改善点を話し合っている。ミーティング等で職員全員が共有できるよう努力している。		
			(外部評価) 職員個々で自己評価を行ない、ホーム長、管理者がまとめられた。職員は、自己評価作成後、さらに自立支援に向けて取組みたいと考えておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>2ヶ月に1回会議を実施している。</p>		<p>会議で扱われた内容を回覧でき、ミーティングで活用した。</p>
			(外部評価)		
			<p>日頃のホームの様子をお伝えしたり、外部研修受講後の取り組み等をお話されている。現在、地域の方の出席が少なめで、参加者からの意見についても少な目である。</p>		<p>今後、会議時、地域の方達に積極的に参加をいただくための働きかけを工夫していきたいと考えておられた。さらに、いろいろな立場からのご意見がいただけるような取り組みが期待される。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>定期的に介護相談者の方が訪問していただき、入所者の心配事などを聞いてもらっている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>介護相談員の受け入れをされている。</p>		<p>今後、さらなる市との連携で介護相談員からの意見等についても、事業所のさらなる質向上のために活かすことができるよう、取り組まれることが期待される。</p>
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>研修会などに参加していますが、現在まで活用したことは無い。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待はないし、見たこともない。研修等で習得しミーティングで話し合っている。また、言葉遣いなども職員同士で注意しあっている。金銭の管理は管理者がして、現金は金庫に保管している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時、管理者が書類・口頭での説明をしている。また、疑問点があれば、いつでもお答えしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員一同、利用者に耳を傾け聞く姿勢をとっている。意見を入れる箱を設置されていて、自由に入れることが出来る。利用者は意見・不満・苦情はそのつど言える状態であり、職員も時間を割いて、聞いている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 定期的に連絡をとり、近況を知らせている。職員の異動・退職などは報告していない。		
			(外部評価) ご家族に対して月1回、ご本人の様子を伝えるお手紙を出されている。ともにホームでの行事報告等を載せた「はとぼっぼ便り」も送付されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進委員会を実施している。また、苦情が寄せられた場合はすぐに職員に知らされ、改善するよう促される。意見箱の設置。		
			(外部評価) ご家族の来訪時にご本人の暮らしぶりを伝えて、意見をいただけるよう働きかけを行なっておられる。現在は、ご家族からの意見や要望は少な目である。		事業所では、今後、ビアガーデンやいもたき会等の行事時の機会を捉え、事業所で取り組んでいることを知っていただきたいと考えておられる。そのようなことをきっかけにしながら、ご家族との関係性をさらに深めていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング・親睦会などでコミュニケーションを図っているが、話し合い以外での意見・提案を聞く方法も必要かもしれない。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 月2階程度のミーティングを実施している。希望休の取り入れあり。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は最小限にとどめられている。		
			(外部評価) 職員同士の親睦を深めて、何でも話し合えるような関係を作っておられる。開設時からおられる職員も多く、利用者と馴染みの関係が作られている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 計画的ではないが、全国認知症グループホーム協会・愛媛県グループホーム連絡協議会等の研修に参加している。		新人の試用期間、レポートなどの記入の取り入れ。
			(外部評価) 感染症や口腔ケアについての研修で得た知識を実践につなげておられる。又、他事業所に研修に向われ、対応の仕方等を勉強されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホームの交流会・勉強会などに参加している。(四葉会)		
			(外部評価)		
			他事業所での勉強会に参加されたり、地域の他事業所4件が集まり、困難事例等について検討する等、事業所のさらなる質向上に向けて取り組まれている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的に休みを入れ、長期勤務が続かないようにされている。また、勤務上の悩みやストレスなどを職員で話し合っている。(食事回=1回/2~3ヶ月)		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修などへの参加や支援をしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用者からの訴えがあった時は業務の手を休め、時間を作り話を聞くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 最初から本心はなかなか聞き出せないことが多いので、聴く機会をその都度持てるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に対応していけるように、他のサービスについても情報の収集をしておくよう努力している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 一度に多くのことを行うのではなく、少しずつホームの生活の仕方について知ってもらい、出来る事から参加していただくよう、働きかけている。 (外部評価) ご自宅や病院から入居される方も多く、急な入居となるような場合もある。そのような時には、「ご本人がどのようにしたいのか」「不安はないか」ということを意識してかかわるようにされている。又、馴染みのものを身近に置かれたり、ご家族と電話でお話をする等、ご家族に協力していただきながら早く事業所に慣れていただけるよう工夫をされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護をしているという立場ではなく、一緒に生活をしている人生の先輩という意識を持って接している。 (外部評価) 日々の生活の中で食材の調理方法や魚のさばき方、川柳等、個々の得意なことを教えてもらうような場面がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会をお願いしたり、行事などの参加を呼びかけている。また、病院の診察などご家族の都合の付く場合は一緒に言ってもらっている。		ご家族との交流の場を増やす。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 近況等をお知らせし、少しでもホームの方へ足を運んでくださるよう声かけをしている。		ご家族との良い関係を築きたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 自宅外出や、行事への参加を支援している。また、ご家族に手紙・電話等で近況をお知らせし、ホームの行事への参加の声かけの支援をしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員がすぐに間に入るのではなく、利用者同士の関わりを大切に見守っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所された後でも、訪問された場合は、ゆっくりとくつろいで頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 定期的に利用者の希望を聞きだしながら、希望に沿った生活が出来るよう努力している。		
			(外部評価)		
			センター方式のアセスメントを使用しておられ、利用者ご本人の言葉をそのままに記録して背景を探っている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今までの生活とホームでの生活が極端に違わないように気を配っているが、共同生活のため、出来ないこともあるので、その都度話し合いをし、徐々に慣れてもらえるよう支援している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) センター方式を使用し、記録に残し、職員で把握している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 話し合いを何度も繰り返し行ない、作成している。また、医療機関との連携をとっている。		
			(外部評価)		
			利用者ご本人を中心として、職員やご家族、医療関係者の意見を踏まえながら、介護計画を作成しておられる。以前働いておられた職場の仲間からの情報を計画に反映したような事例もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態が変われば職員ミーティングを行い、見直している。		
			(外部評価)		
			基本的には6ヶ月ごとの見直しとされている。入居時や退院時等、状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の記録は密にとっており、月に1~2回のミーティングで情報を共有し、また、見直し、お一人おひとりに合った計画を立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			病院の診察などで、ご家族の方がいけない場合は職員が付き添い、病院の送迎・薬の受け取りをしている。		
			(外部評価)		
			近所の美容室に出かけられたり、入院時に事業所で洗濯物の管理をする場合もある。以前行っておられた川柳の会に再度、通っておられる方もおられた。ご本人やご家族の状態に応じて柔軟に対応をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 教育機関からもホームへの訪問あり、ボランティア活動として入居者との関わりを持ってもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 支援は行なっていないが、退所時に協力を求めている。また、他の施設への紹介も実施している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご希望の病院で受診できるように支援している。 (外部評価) 以前、大きな病気をさていれた方等、かかっていた病院にご家族の同行で継続して受診されている。又、いざという時は、協力医療機関に相談されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 事業者が脳神経外科医である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 事業者が医院である為、健康管理には十分配慮されている。また、毎朝のバイタルチェック等で常態の観察をし、必要時は医院に報告・指示を受ける。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院されたらお見舞い等で情報交換をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ホームとご家族・医師の連携は取れるように努力している。 (外部評価) 看取りや重度化時について、必要時に事業所の対応等について話し合いを行う予定とされていた。		さらに、利用者ご本人の希望やご家族の要望、事業所の方針等について話し合うような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 毎日の生活の中で状態の変化があれば、早々に医師に連絡できる状態にあり、職員同士の情報交換も常に出来ている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者のいい状態で納得のいく、話し合いに努めている、それに関わる関係者の情報交換は蜜にとっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の性格等を把握し、人格を尊重しながら、会話を する。また、個人情報の記録はロッカーに保管して いる。</p>			
		<p>(外部評価)</p> <p>事業所外に持ち出す事業所便りについては、利用者の 顔写真や名前を載せないようにされている。</p>			
51		<p>(自己評価)</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お一人で外出時は見守りをして、様子を伺うようにし ている。また、何をするかなど自己決定の場面を作る よう努力している。</p>	<p>職員が五感を磨く必要がある。</p>	
52	21	<p>(自己評価)</p> <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入浴や散歩等、出来るだけ利用者の都合に合わせ、支 援をしている。また、自宅外出や買い物等、希望に沿 えるようにしている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>利用者同士が関わるような場면을大切にされており、 職員は、利用者と距離を持たれたり一緒に行く等され ていた。ご夫婦で入居されている方は、ご主人のお世 話をされていた。</p>		<p>さらに、今後も利用者と職員の関わり方について「さ りげないサポート」という点から話し合ってみてはど うだろうか。</p>	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみ等ご自分では難しい利用者は、一緒に選んでいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご自分で出来る利用者には調理・盛り付け・配膳等をお願いしている。また、食後の食器洗い等も出来る方にはお願いしている。		片付けに時間がかかり、トラブルとなることもある。
			(外部評価) ご自分の食器は、ご自身で下膳して洗ってもらえるよう、声かけをされていた。献立を利用者と一緒に考えたり、事業所に来てくれる魚屋さんに、職員とともに魚を買いに行く方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 季節に応じたおやつや、職員と入居者の手作りのおやつなどを楽しんでもらっている。また、おやつ・飲み物・お酒などは自由にしている。		喫煙者は入居できない。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者お一人お一人の状態に応じ、自尊心を尊重して声かけをしている。		排泄パターンの把握。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の都合の良い時に入ってもらうように支援している。		
			(外部評価)		
			温泉に出かける方もおられる。清拭のみのとされていた方がシャワー浴を行えるようになったような事例もある。入浴を嫌がるような方には、職員が声かけを工夫してすすめておられる。入浴の順番については、利用者で相談し「じゃんけん」で決める時もある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			居室のベットや和室・ソファなど好きなところで休めるように声かけや見守りをしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			買い物へ行く方、台所で調理する方、洗濯をする方など、その人が出来る事を役割として頂いている。また、月に2回ピアノの先生に来て頂き、伴奏で歌を歌うことを皆さん楽しみにしている。		
			(外部評価)		
			お部屋の掃除をされたり、紙細工をされる方がおられ、居間等に作品のお人形を飾っておられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			入所時にご家族に金銭の確認をしていますので、持たせて欲しいと言われる場合や、ご本人の希望に出来るだけ応じることが出来るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日、近隣の神社への散歩を実施している。また、希望時は買い物の支援をしている。		
			(外部評価)		
			隣にある神社に利用者同士が誘い合わせて散歩に行かれたり、ご家族の方と外出されたり、時にはバスに乗って出かけるようなこともある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節ごとのイベントで計画を立てて、支援している。また、入居者の状態等でドライブ・外食・温泉等に出かけます。		温泉旅行等にも行けたらいいと思います。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は自由に使用してもらっている。また、手紙等は一緒に郵便局まで出かけます。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問して頂いている。夜は午後9時に玄関の施錠をしますが、チャイム・電話等で連絡していただければ、可能です。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない、また、薬剤拘束にならないように医師に相談しています。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 午後9時から午前6時以外は施錠しない。 (外部評価) 玄関は施錠しておらず、利用者は麦わら帽子をかぶって出入りしておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 申し送りノートなどの活用で重要な事項は職員に伝達するようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものは職員で話し合いのもと取り除いている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者お一人お一人の状態を把握して事故防止に努めている。また、ヒヤリハットノートを活用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 研修等で習得できる機会を作っている。		マニュアルの作成が必要。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回防災訓練をしている。 (外部評価) 消防署の指導を得て居室のベッドの配置を変える等された。		マニュアルの作成が必要。 さらに、夜間時や地域との協力体制の確保、いろいろな災害時の対応についても検討されることが期待される。今後の運営推進会議で話し合いをされたいと考えられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 状態変化時などに報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックにて体調の変化に気づき、当日勤務の職員には必ず報告し、必要時、医院に報告し指示を仰ぐ。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 管理は看護師ですが、職員全員に分かるようにミーティング等で報告している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 出来るだけ水分補給できるように声かけをしている、また、薬に頼らず食事・運動などを中心に考えるようにしているが、難しい時は医師の指示を仰ぐ。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 夕食後は必ず声かけをして、出来ているが、朝・昼食後も出来るよう努力する。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1日3回汁物・10時・15時にはお茶等。バランスの良い食事が出来るよう献立を考えている。		
			(外部評価) 利用者の好み等も聴き取りながら献立作りをされている。食事中はテーブルの上に急須があり、台所のカウンターの上にもオーナージャグがあり、いつでもお茶を飲めるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 外出から帰った時には必ず手洗い・うがいの実施、定期的なトイレ・手すり・椅子の消毒の実施。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理前の手洗いの徹底・賞味期限の確認と食材の吟味、アルコールスプレーの使用、毎日の調理器具の消毒を実施している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中、玄関の鍵は施錠せず、自由に出入りできる。花や緑を目に出来るような環境づくりを考えている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節感を感じられるような飾りを考えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、写真等やご家族からいただいた「あじさい」が飾られていた。利用者のご自宅から持ってきた鉢植えがベランダに置かれていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>建物内にはソファが数箇所、屋外にもベンチ・椅子、和室にはコタツも置いている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			出来るだけ馴染みの物を置いてもらい、安心して生活していただけるようにしている。		
			(外部評価)		
			居室は、それぞれの馴染みの物品を持ち込まれている。テレビや趣味の川柳を書いた短冊、子供さんの連絡先が記されたものもうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気は定期的に行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーになっている、手すりを設置している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			時間はかかるが、利用者お一人おひとりの力を生かして、生活して頂いている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに自由に出ることが出来るので、外の空気を吸ったり、景色を見ることが出来る、庭には植木・花を植えている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	出来るだけ利用者の状態を考えながら、否定せず、受け入れるようにしています。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者の希望時、訴え時は、ゆっくりと受け入れるように、椅子に座って話をしています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理な生活をしないように食事・清掃など、利用者のペースに合わせるようにしています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ありがとう」という言葉と共に笑顔が見られることがあります。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	美容室・スーパー等、できるだけ利用者が行きたい時に外出できるよう見守りしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタル・チェックで普段との状態の変化に気付き、観察し、必要時は病院受診など支援しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の身体的・精神的な面の状況などに応じて、スタッフが情報の共有が出来るようにしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にお聞きするようにしています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者のご家族の方で、ほとんど毎日来所して頂いている方がいます、又、必要時お願いをしています。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議にて以前よりホーム内の事情など、理解していただけるようになってきています。
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ストレスを感じない職員はいないと思いますが、自分の仕事に誇りを持ち、働いているようです。
99	②利用者の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満を訴えてくる時もありますが、落ち着いて生活されている姿を見ることもあります。
100	②家族等の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族の方からは、言葉としては「ありがとうございます」を聞かれます。それが本心なのかは疑問です。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

自立支援に向けた個別の対応と利用者同士の共同生活の支援。
 家庭的な場所。